

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。
 詳細レポート全体につきましては[弊社ウェブサイト](#)をご覧ください。

2019年11月8日、生化学工業株式会社は2020年3月期第2四半期決算および新中期経営計画の策定に関して発表した。

四半期業績推移 (累計) (百万円)	FY03/18				FY03/19				FY03/20				FY03/20	
	Q1	Q1-Q2	Q1-Q3	Q1-Q4	Q1	Q1-Q2	Q1-Q3	Q1-Q4	Q1	Q1-Q2	Q1-Q3	Q1-Q4	進捗率	通期会予
売上高	7,508	15,495	23,401	30,175	7,226	14,256	21,586	28,384	7,649	15,555			54.4%	28,600
YoY	-9.3%	2.7%	5.8%	2.0%	-3.8%	-8.0%	-7.8%	-5.9%	5.9%	9.1%				0.8%
売上総利益	4,185	8,978	13,638	17,166	3,900	7,738	11,616	15,270	4,052	8,775				
売上総利益率	55.7%	57.9%	58.3%	56.9%	54.0%	54.3%	53.8%	53.8%	53.0%	56.4%				
販管費	3,311	6,759	10,507	15,745	3,369	6,774	10,264	14,292	3,088	6,624				
YoY	-20.5%	-12.6%	-5.6%	4.6%	1.8%	0.2%	-2.3%	-9.2%	-8.3%	-2.2%				
販管費率	44.1%	43.6%	44.9%	52.2%	46.6%	47.5%	47.5%	50.4%	40.4%	42.6%				
営業利益	874	2,218	3,131	1,421	530	963	1,351	977	964	2,150			159.3%	1,350
YoY	130.6%	183.3%	255.4%	10.8%	-39.4%	-56.6%	-56.9%	-31.2%	81.9%	123.3%				38.2%
営業利益率	11.6%	14.3%	13.4%	4.7%	7.3%	6.8%	6.3%	3.4%	12.6%	13.8%				4.7%
経常利益	1,256	4,794	5,889	5,327	1,554	2,475	2,953	2,859	1,251	2,471			65.9%	3,750
YoY	206.3%	248.4%	192.1%	115.1%	23.7%	-48.4%	-49.9%	-46.3%	-19.5%	-0.2%				31.2%
経常利益率	16.7%	30.9%	25.2%	17.7%	21.5%	17.4%	13.7%	10.1%	16.4%	15.9%				13.1%
親会社株主帰属当期純利益	923	3,550	4,350	3,922	1,204	1,912	2,253	2,244	980	-10,766			-	-11,000
YoY	221.6%	250.4%	193.7%	119.5%	30.4%	-46.1%	-48.2%	-42.8%	-18.6%	-				-
四半期純利益率	12.3%	22.9%	18.6%	13.0%	16.7%	13.4%	10.4%	7.9%	12.8%	-				-
研究開発費	1,558	3,205	5,150	8,408	1,563	3,287	4,992	7,148	1,288	3,007			43.0%	7,000
YoY	-32.0%	-22.0%	-10.7%	7.3%	0.3%	2.6%	-3.1%	-15.0%	-17.6%	-8.5%				-2.1%
売上高比率	20.8%	20.7%	22.0%	27.9%	21.6%	23.1%	23.1%	25.2%	16.8%	19.3%				24.5%
設備投資	na	645	na	1,591	na	528	na	1,310	na	na				
YoY	-	3.5%	-	35.6%	-	-18.1%	-	-17.7%	-	-				
売上高比率	-	4.2%	-	5.3%	-	3.7%	-	4.6%	-	-				
減価償却費	730	1,468	na	2,926	726	1,446	na	2,902	728	na				
YoY	-	1.1%	-	0.2%	-0.5%	-1.5%	-	-0.8%	0.3%	-				
売上高比率	-	9.5%	-	9.7%	-	10.1%	-	10.2%	9.5%	-				
期中平均レート (円/US\$)	111.10	111.07	111.71	110.86	109.07	110.27	111.15	110.86	109.90					105.00
四半期業績推移 (3か月) (百万円)	FY03/18				FY03/19				FY03/20					
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4		
売上高	7,508	7,987	7,906	6,774	7,226	7,030	7,330	6,798	7,649	7,906				
YoY	-9.3%	17.3%	12.3%	-9.2%	-3.8%	-12.0%	-7.3%	0.4%	5.9%	12.5%				
売上総利益	4,185	4,793	4,660	3,528	3,900	3,838	3,878	3,654	4,052	4,723				
売上総利益率	55.7%	60.0%	58.9%	52.1%	54.0%	54.6%	52.9%	53.8%	53.0%	59.7%				
販管費	3,311	3,448	3,748	5,238	3,369	3,405	3,490	4,028	3,088	3,536				
YoY	-20.5%	-3.3%	10.1%	33.5%	1.8%	-1.2%	-6.9%	-23.1%	-8.3%	3.8%				
販管費率	44.1%	43.2%	47.4%	77.3%	46.6%	48.4%	47.6%	59.3%	40.4%	44.7%				
営業利益	874	1,344	913	-1,710	530	433	388	-374	964	1,186				
YoY	130.6%	232.7%	831.6%	-	-39.4%	-67.8%	-57.5%	-	81.9%	173.9%				
営業利益率	11.6%	16.8%	11.5%	-	7.3%	6.2%	5.3%	-	12.6%	15.0%				
経常利益	1,256	3,538	1,095	-562	1,554	921	478	-94	1,251	1,220				
YoY	206.3%	266.3%	71.1%	-	23.7%	-74.0%	-56.3%	-	-19.5%	32.5%				
経常利益率	16.7%	44.3%	13.9%	-	21.5%	13.1%	6.5%	-	16.4%	15.4%				
親会社株主帰属当期純利益	923	2,627	800	-428	1,204	708	341	-9	980	-11,746				
YoY	221.6%	261.8%	70.9%	-	30.4%	-73.0%	-57.4%	-	-18.6%	-				
四半期純利益率	12.3%	32.9%	10.1%	-	16.7%	10.1%	4.7%	-	12.8%	-				

出所：会社データを基にSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じる相違であることに留意。

セグメント別 (累計) (百万円)	FY03/18				FY03/19				FY03/20				FY03/20	
	Q1	Q1-Q2	Q1-Q3	Q1-Q4	Q1	Q1-Q2	Q1-Q3	Q1-Q4	Q1	Q1-Q2	Q1-Q3	Q1-Q4	(進捗率)	通期会予
売上高	7,508	15,495	23,401	30,175	7,226	14,256	21,586	28,384	7,649	15,555			54.4%	28,600
YoY	-9.3%	2.7%	5.8%	2.0%	-3.8%	-8.0%	-7.8%	-5.9%	5.9%	9.1%				0.8%
医薬品事業	6,062	12,559	19,158	24,244	5,560	10,939	16,713	21,893	5,936	12,236				
YoY	-10.5%	2.3%	6.3%	0.4%	-8.3%	-12.9%	-12.8%	-9.7%	6.8%	11.8%				
構成比	80.7%	81.1%	81.9%	80.3%	76.9%	76.7%	77.4%	77.1%	77.6%	78.7%				
国内医薬品	4,117	8,453	12,881	16,125	3,501	6,974	10,938	14,161	3,689	7,260				
YoY	-11.6%	-0.8%	4.7%	-0.9%	-15.0%	-17.5%	-15.1%	-12.2%	5.4%	4.1%				
構成比	54.8%	54.6%	55.0%	53.4%	48.5%	48.9%	50.7%	49.9%	48.2%	46.7%				
海外医薬品	1,725	3,586	5,584	7,113	1,805	3,429	4,909	6,511	1,956	4,439				
YoY	-5.9%	11.1%	13.3%	5.1%	4.6%	-4.4%	-12.1%	-8.5%	8.4%	29.5%				
構成比	23.0%	23.1%	23.9%	23.6%	25.0%	24.1%	22.7%	22.9%	25.6%	28.5%				
医薬品原体	219	519	692	1,005	253	535	864	1,220	290	535				
YoY	-20.4%	-3.2%	-12.0%	-9.5%	15.5%	3.1%	24.9%	21.4%	14.6%	-				
構成比	2.9%	3.3%	3.0%	3.3%	3.5%	3.8%	4.0%	4.3%	3.8%	3.4%				
LAL事業	1,445	2,936	4,243	5,931	1,666	3,317	4,873	6,491	1,712	3,319				
YoY	-4.0%	4.7%	3.3%	9.1%	15.3%	13.0%	14.8%	9.4%	2.8%	0.1%				
構成比	19.2%	18.9%	18.1%	19.7%	23.1%	23.3%	22.6%	22.9%	22.4%	21.3%				
海外売上高	2,911	6,020	9,078	12,051	3,182	6,224	8,968	11,966	3,365					
YoY	-2.6%	11.3%	11.8%	9.3%	9.3%	3.4%	-1.2%	-0.7%	5.8%					
海外売上高比率	38.8%	38.9%	38.8%	39.9%	44.0%	43.7%	41.5%	42.2%	44.0%					
セグメント別 (3ヵ月) (百万円)	FY03/18				FY03/19				FY03/20					
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4		
売上高	7,508	7,987	7,906	6,774	7,226	7,030	7,330	6,798	7,649	7,906				
YoY	-9.3%	17.3%	12.3%	-9.2%	-3.8%	-12.0%	-7.3%	0.4%	5.9%	12.5%				
医薬品事業	6,062	6,497	6,599	5,086	5,560	5,379	5,774	5,180	5,936	6,300				
YoY	-10.5%	17.9%	15.0%	-17.1%	-8.3%	-17.2%	-12.5%	1.8%	6.8%	17.1%				
構成比	80.7%	81.3%	83.5%	75.1%	76.9%	76.5%	78.8%	76.2%	77.6%	79.7%				
国内医薬品	4,117	4,336	4,428	3,244	3,501	3,473	3,964	3,223	3,689	3,571				
YoY	-11.6%	12.4%	16.9%	-18.1%	-15.0%	-19.9%	-10.5%	-0.6%	5.4%	2.8%				
構成比	54.8%	54.3%	56.0%	47.9%	48.5%	49.4%	54.1%	47.4%	48.2%	45.2%				
海外医薬品	1,725	1,861	1,998	1,529	1,805	1,624	1,480	1,602	1,956	2,483				
YoY	-5.9%	33.6%	17.5%	-17.0%	4.6%	-12.7%	-25.9%	4.8%	8.4%	52.9%				
構成比	23.0%	23.3%	25.3%	22.6%	25.0%	23.1%	20.2%	23.6%	25.6%	31.4%				
医薬品原体	219	300	173	313	253	282	329	356	290	245				
YoY	-20.4%	14.9%	-30.8%	-3.7%	15.5%	-6.0%	90.2%	13.7%	14.6%	-13.1%				
構成比	2.9%	3.8%	2.2%	4.6%	3.5%	4.0%	4.5%	5.2%	3.8%	3.1%				
LAL事業	1,445	1,491	1,307	1,688	1,666	1,651	1,556	1,618	1,712	1,607				
YoY	-4.0%	14.9%	0.2%	27.0%	15.3%	10.7%	19.1%	-4.1%	2.8%	-2.7%				
構成比	19.2%	18.7%	16.5%	24.9%	23.1%	23.5%	21.2%	23.8%	22.4%	20.3%				
海外売上高	2,911	3,109	3,058	2,973	3,182	3,042	2,744	2,998	3,365					
YoY	-2.6%	28.5%	12.8%	2.1%	9.3%	-2.2%	-10.3%	0.8%	5.8%					
海外売上高比率	38.8%	38.9%	38.7%	43.9%	44.0%	43.3%	37.4%	44.1%	44.0%					

出所：会社データを基にSR社作成

＊表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じる相違であることに留意。

2020年3月期第2四半期累計 (上半期) 実績 (2019年11月8日発表)

- ▷ 2020年3月期第2四半期累計実績：売上高15,555百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益2,150百万円（同123.3%増）、経常利益2,471百万円（同0.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失10,766百万円（前同期は純利益1,912百万円）。事業環境および中長期業績を見据えて、当上半期に医薬品事業に関する固定資産の減損損失12,304百万円を計上した。減損処理に伴い、2020年3月期以降の減価償却費が減少する。
- ▷ 減損損失12,304百万円の計上：医薬品事業に係る固定資産の収益性低下が認められたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として12,304百万円を計上。国内薬価制度の抜本改革による長期収載品の大幅な薬価引き下げの影響や、関節機能改善剤の販売本数が設備投資時の想定を下回る水準で推移していることなどが背景。
- ▷ 2020年3月期通期連結業績予想の修正*：2020年3月期売上高は米国におけるジェル・ワンの増加により、前回会社予想比350百万円上方修正。営業利益は、売上高の上方修正と減価償却減により、同950百万円上方修正。経常利益はそれらの要因に加え、受取ロイヤリティ増などにより、同1,450百万円の上方修正。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、減損損失の計上により、11,000百万円の損失を同社は見込む。
- ▷ 進捗率：2020年3月期通期会社予想（2019年11月8日発表の修正値）に対する当上半期実績の進捗率は、売上高54.4%（2019年3月期通期実績に対する前年同期実績の進捗率50.2%）、営業利益159.3%（同98.6%）、経常利益65.9%（同86.6%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は通期計画当期純損失11,000百万円に対して当上半期実績は純損失10,766百万円。

- ▷ 前年同期比9.1%増収：国内医薬品同4.1%増、海外医薬品同29.5%増、医薬品原体同0.0%減、LAL同0.1%増
- ▷ 同123.3%営業増益：売上総利益率は前年同期比2.1%ポイント上昇の56.4%となった。SI-613の国内試験費用のピークアウトなどにより研究開発費が減少した（前年同期比8.5%減の3,007百万円）ことなどにより、販管費率は4.9%ポイント低下の42.6%、営業利益率は同7.0%ポイント改善の13.8%となった
- ▷ 営業外損益：投資有価証券売却益が前年同期の735百万円から166百万円に減少、受取ロイヤリティーは当上四半期に計上がなかった（前年同期は508百万円）。為替差損145百万円を計上。

*2020年3月期通期連結業績予想の修正（2019年11月8日発表）

- ▷ 売上高：28,600百万円（前回予想28,250百万円）
- ▷ 営業利益：1,350百万円（前回予想400百万円）
- ▷ 経常利益：3,750百万円（同2,300百万円）
- ▷ 親会社株主に帰属する当期純損失：11,000百万円（同利益2,000百万円）

<通期業績予想の上方修正の理由>

- ▷ 売上高は米国における単回投与の関節機能改善剤ジェル・ワンの増加を見込み、営業利益は研究開発費が増加する一方、増収に加え、減損処理に伴い減価償却費が減少することから、前回予想を上回る。
- ▷ 経常利益は、受取ロイヤリティーなどの増加により上方修正するものの、親会社株主に帰属する当期純利益は、減損処理による特別損失を計上したことから、純損失に転じる。

セグメント別動向

セグメント（サブセグメント）別の状況は以下の通り。

国内医薬品

売上高7,260百万円（前年同期比4.1%増）

- ▷ 関節機能改善剤アルツは、市場全体がほぼ横ばいで推移するなか、医療機関納入本数は微増となった。第2四半期までに出荷が集中したことから、同社売上高は増加した。
- ▷ 眼科手術補助剤オペガン類は、シエルガンの順調な推移などによりオペガン類全体で好調を維持し、医療機関納入本数および市場シェアが伸び、同社売上高も増加した。
- ▷ 内視鏡用粘膜下注入材ムコアップは、競合品参入の影響を受け減収となった。
- ▷ 2018年8月1日より販売を開始した腰椎椎間板ヘルニア治療剤ヘルニコアについては、当第2四半期において、医療機関納入本数が着実に増加し、同社売上高も増加した。引き続き、販売提携先とともに適正使用および安全性確保に向けた医療機関への情報提供活動を推進しつつ、段階的な普及に努めていく。

海外医薬品

売上高4,439百万円（同29.5%増）

- ▷ 単回投与の関節機能改善剤ジェル・ワンは、販売提携先の拡販施策に加え、2019年より複数の民間保険会社で優先償還を獲得したことに加え、競合品からの切り替え施策が奏功したことにより、現地販売本数および同社売上高が大幅に増加した。
- ▷ 5回投与の関節機能改善剤スバルツFXは、米国市場において単回投与や3回投与などの少数回投与製品が選好される傾向が継続している影響を受け、現地販売本数は減少した。しかし、前倒しの出荷増があったことから、同社売上高は増加した。

- ▷ 中国向けアルツは、販売提携先による販売員の増強や都市部及びその周辺地域への拡販戦略が奏功し、現地販売本数は増加した。しかし、為替の影響により、同社売上高は減少した。

医薬品原体

売上高535百万円（同0.0%減）

- ▷ コンドロイチン硫酸は減収、ヒアルロン酸は増収となった。

LAL事業

売上高3,319百万円（同0.1%増）

- ▷ 海外子会社のアソシエーツオブケーブコッドインクでの販売活動強化によりエンドトキシン測定用試薬やグルカン測定体外診断薬が堅調に推移し、前期並みの売上高となった。

パイプライン

SI-6603（腰椎椎間板ヘルニア治療剤、開発地域：米国）

2018年2月より米国における第III相臨床試験の追加試験を開始し、現在、被験者の組み入れを行っている。本試験では、成功確度を高めるために被験者の組み入れ基準を厳格にしたことや治験施設の立ち上げに時間を要していることから、想定よりも進捗が遅延している。これを受け、当初の試験計画を見直し、終了時期を2年延長（2022年11月に経過観察終了予定）することとした。

SI-613（変形性関節症治療剤、開発地域：日本・米国）

国内第III相臨床試験における3つの試験が終了し、その試験結果を考慮のうえ、2020年3月期中の承認申請を目指して準備を進めている。

SI-722（間質性膀胱炎治療剤、開発地域：米国）

米国における第I相臨床試験が完了し、2019年11月に第I/II相臨床試験を開始した。本試験では、安全性や忍容性、薬物動態に加え、探索的に有効性を評価する。SI-722は、同社独自のグリコサミノグリカン修飾技術やドラッグデリバリーシステム(DDS)を活用し、コンドロイチン硫酸にステロイドを結合させた新規の化合物である。膀胱内に注入したSI-722が抗炎症作用を有するステロイドを徐放することで、持続的に頻尿や膀胱痛などの症状改善作用を発揮すると考える。SI-722の開発を通じ、間質性膀胱炎治療の新しい選択肢を提供することで、患者の生活の質の向上に貢献することを目指す。

今期会社計画

業績推移 (百万円)	FY03/19			FY03/20		
	1H実績	2H実績	通期実績	1H実績	2H会予	通期会予
売上高	14,256	14,128	28,384	15,555	13,045	28,600
YoY	-8.0%	-3.8%	-5.9%	9.1%	-7.7%	0.8%
営業利益	963	14	977	2,150	-800	1,350
YoY	-56.6%	-	-31.2%	123.3%	-	38.2%
営業利益率	6.8%	0.1%	3.4%	13.8%	-	4.7%
経常利益	2,475	384	2,859	2,471	1,279	3,750
YoY	-48.4%	-	-46.3%	-0.2%	233.1%	31.2%
経常利益率	17.4%	2.7%	10.1%	15.9%	9.8%	13.1%
親会社株主帰属当期純利益	1,912	332	2,244	-10,766	-234	-11,000
YoY	-46.1%	-	-42.8%	-663.1%	-	-
当期純利益率	13.4%	2.3%	7.9%	-69.2%	-	-

出所：会社データを基にSR社作成

*表の数値が会社資料とは異なる場合があるが、四捨五入により生じる相違であることに留意

概要

2020年3月期通期会社計画（2019年11月8日に修正*）は、売上高28,600百万円（前期比0.8%増）、営業利益1,350百万円（同38.2%増）、経常利益3,750百万円（同31.2%増）、親会社株主に帰属する純損失11,000百万円（前期は純利益2,244百万円）、1株当たり年間配当予想は前期比横ばいの26円としている。

事業環境および中長期業績を見据えて、当上半期に医薬品事業に関する固定資産の減損損失12,304百万円を計上した。減損処理に伴い、2020年3月期以降の減価償却費が減少する。2020年3月期売上高は米国におけるジェル・ワンの増加により、前회社予想比350百万円上方修正。営業利益は、売上高の上方修正と減価償却減により、同950百万円上方修正。経常利益はそらの要因に加え、受取ロイヤリティ増などにより、同1,450百万円の上修正。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、減損損失の計上により、11,000百万円の損失を同社は見込む。

中長期見通し

新中期経営計画（2020年3月期～2022年3月期）

2019年11月8日、同社は、2020年3月期上半期決算発表と同時に、新中期経営計画（2020年3月期～2022年3月期）を発表した。

最終年度（2022年3月期）の数値目標

新中期経営計画の最終年度（2022年3月期）の数値目標は、売上高28,300百万円（2019年3月期実績比横ばい）、経常利益4,500百万円（同1.57倍）、SKK EBITDA（営業利益+減価償却費+受取ロイヤリティ）5,000百万円（同1.1倍）、海外売上高比率50.0%（2019年3月期実績42.2%）。尚、事業環境および中長期業績を見据えて、当上半期に医薬品事業に関する固定資産の減損損失12,304百万円を計上した結果、2020年3月期以降の減価償却費が減少する。為替レート的前提は、対米ドル105円。

重点施策

医薬品産業を取り巻く経営環境が急激に変化し厳しさを増すなか、同社が再び成長軌道を描くためには、独創的な新薬を継続的に創生することが必須であると同社は考えている。(1)新たな収益の柱となる新薬開発の加速、(2)製品の市場拡大による収益基盤強化、(3)生産性向上の3つを重点施策とする。

- ▷ (1)では、GAGに関する独自の基盤技術の強化・活用、オープンイノベーション戦略による独創的な創薬の加速、グローバル展開を視野に入れた開発パイプラインの着実な進展を図る
- ▷ (2)では、国内ヘルニコアの育薬、既存製品・開発品の多国展開の加速、遺伝子組換え技術を活かしたエンドトキシン測定用試薬の世界展開を図る
- ▷ (3)では、各種コストの徹底的な低減、収益モデルの多角化、リソースの価値最大化に向けて組織づくりを推進する

新たな収益の柱となる新薬開発の加速

- ▷ **GAGに関する独自の基盤技術の強化・活用**：同社が保有する独自の創薬技術を存分に活かし、創薬の可能性を高める
＜同社が保有する主な技術＞
 - ▷ 修飾・加工・生理活性による創薬
 - ▷ ドラッグデリバリーシステム（DDS）への応用
 - ▷ プラットフォーム技術活用・次世代 GAG創薬アプローチ
- ▷ **オープンイノベーション戦略による独創的な創薬の加速**：同社保有技術に加え、他社の保有する親和性の高い技術を積極的に取り入れ、シナジーの最大化を図り、新薬開発のプロジェクト数を拡充させるとともに、スピードアップを図る
- ▷ **グローバル展開を視野に入れた開発パイプラインの着実な進展**：変形性関節症治療剤SI-613の承認申請・上市を達成させ、新たな基幹製品として早期に育て上げる。また、間質性膀胱炎治療剤SI-722、癒着防止材SI-449の臨床試験におけるステージアップを目指す。腰椎椎間板ヘルニア治療剤SI-6603については、第III相臨床試験追加試験のスピードアップに注力し、米国上市に向けて全力で取り組む

製品の市場拡大による収益基盤強化

- ▷ **国内ヘルニコアの育薬**：適正使用と安全性確保に向けた情報提供活動や市販後の安全性情報集積を最優先に進めつつ、関連学会と連携しながら当局と合意の上で、使用可能となる医師・施設の要件を段階的に広げ、着実な市場浸透に努める。また、疾患啓発活動により、患者の腰椎椎間板ヘルニアに対する認知度向上を促進する
- ▷ **既存製品・開発品の多国展開の加速**：既存製品および開発品の新規市場開拓を急ぎ、製品価値を最大化させることで、中長期的な収益基盤の強化を図る。また、導出地域の医療ニーズに合わせた製品改良や用途開発にも積極的に取り組む
- ▷ **遺伝子組換え技術を活かしたエンドトキシン測定用試薬の世界展開**：同社グループのLAL事業の海外展開を担う米国子会社アソシエーツ オブ ケープ コッド インク（ACC社）において、今後の普及が予想される遺伝子組み換えエンドトキシン測定用試薬の世界展開を図り、新たな収益基盤の確保につなげる

生産性向上

- ▷ **各種コストの徹底的な低減**：製造原価については、既に立ち上げているプロジェクトにより、調達コストの見直しや生産最適化・効率化をさらに進め、製品の収益性確保につなげる。販管費については、業務効率の向上と予断をもたないコスト削減を徹底するとともに、継続的な創薬活動を推進するために、優先度を見極めた研究開発費の効率的活用に取り組む
- ▷ **収益モデルの多角化**：これまでのビジネスモデルにとらわれず、新たな収益を生み出すためのスキームを精力的に検討していく

- ▷ リソースの価値最大化に向けて組織づくり：事業環境の変化に柔軟に対応し、新しい価値を創造できる人材の育成と、個々のポテンシャルを最大限発揮できる組織改革を進める

利益配分の基本方針

株主への利益還元については、重要な経営課題の一つとして認識し、業績に連動した配当を実施するとともに、今後の事業展開や総還元性向を勘案しながら、自己株式の取得を適宜検討することを基本方針とする。

- ▷ 2020年3月期の配当金は、1株当たり年間26円の予想を継続し、2021年3月期および2022年3月期は、事業収益などを勘案のうえ、配当性向50%を目指し、継続した利益還元を努める
- ▷ 収益基盤の強化と資本効率の向上を図るために、新たな価値創出に向けた研究開発や生産体制整備に対する事業投資のほか、将来の成長やシナジー効果が見込める戦略投資にも積極的に取り組んでいく

このリサーチメモは、掲載企業の[最新版レポート](#)にも掲載されています。

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレーム

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。SR Inc.の役員および従業員は、SR Inc.の調査レポートで対象としている企業の発行する有価証券に関して何らかの取引を行っており、または将来行う可能性があります。そのため、SR Inc.の役員および従業員は、該当企業に対し、本レポートの客観性に影響を与える利害を有する可能性があることにご留意ください。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.
東京都文京区千駄木3-31-12
HP: <https://sharedresearch.jp>
TEL : (03)5834-8787
Email: info@sharedresearch.jp